

	開催日程	科目	講師	概要	時間数	時間帯
1	5月1日（金） ～31日（日） （オンデマンド）	経営の基礎	小山秀夫（兵庫県立大学名誉教授）	医療・介護・福祉における、栄養ケア・マネジメントの現在及び将来をみずえたマネジメントの基本を学び、行動するための必須講義。	2時間	
			矢野目英樹（相澤病院栄養科科長）	病院の早期栄養介入管理加算、周術期栄養管理加算等の診療報酬に対応した先進的な栄養部門管理者のマネジメント、人材採用・教育、イノベーションに関する実績から学ぶ。	2時間	
			深柄和彦（東京大学医学部附属病院教授）	特定集中治療室等の早期栄養介入管理加算、周術期栄養管理加算等の診療報酬の新設にあたり、エビデンスやガイドラインによる裏付けをされた臨床外科代謝学、病院管理の第一人者から学ぶ。	2時間	
2	6月1日（月） ～30日（火） （オンデマンド）	制度と臨床栄養師	清野富久江（国立保健医療科学院生涯健康研究部部長）	栄養政策からみた医療・介護・福祉における栄養ケア・マネジメントと人材育成を含めた今後の課題とそれの対応について学ぶ。	2時間	
		栄養ケア・マネジメントの運営	高田健人（十文字学園女子大学准教授）	医療・介護・福祉における栄養ケア・マネジメントについて、その歴史、構造、プロセス、評価の要点とその考え方やエビデンス、将来をみずえて強化すべき課題とそれの対応を学ぶ。	2時間	
			刈部康子（介護老人保健施設 リハパーク舞岡栄養課課長）	小規模施設での栄養ケア・マネジメントの体制と実務の現状と将来をみずえ課題について介護保険施設の先進的な取組みから学ぶ。	2時間	
3	7月1日（水） ～31日（金） （オンデマンド）	経営の基礎（給食経営管理への対応）	西井穂（神戸女子大学講師）	マネジメントの観点から給食経営管理者に必要な課題とそれの対応について学ぶ。	2時間	
		給食経営管理	麻植有希子（SOMPOケアフーズ株式会社栄養管理部部長）	給食経営管理者に必要な能力として専門性、マーケティング、コミュニケーション能力、経営への参加、戦略立案から人の心を動かすプレゼンテーションまでを学ぶ。	2時間	
4	7月11日（土） 10：00～ 17：00	給食経営管理	堤亮介（平成医療福祉グループ栄養部部長）	栄養ケア・マネジメントにおける給食経営管理の意義、実践現場が抱える様々な問題（コンフリクトを含めて）とそれの解決について学ぶ。	2時間	10：00～ 12：00
		地域栄養活動（自治体やボランティア活動団体との連携、異文化への対応のあり方）	野地有子（姫路大学大学院特任教授兼看護学部特任教授、千葉大学名誉教授）	地域の食事・栄養計画とボランティア活動との連携について、異文化や宗教的制限のある人たちへの栄養ケアへの理解を深める。	2時間	13：00～ 15：00
		症例検討と発表（症例検討の基本）	高崎美幸（東葛クリニック病院医療技術部栄養ケア・ステーション課長）	入院・退院・在宅訪問と移行する症例を通じて症例検討のグループワーク。	2時間	15：00～ 17：00
5	8月1日（土） ～31日（月） （オンデマンド）	栄養教育(保健指導)	五味郁子（神奈川県立保健福祉大学教授）	特定健診・保健指導におけるプログラム、指導計画、コーチング、行動変容を上手に促すスキルについて学ぶ。	2時間	
		栄養教育(生活習慣病：腎臓病)	鎌田由香（宮城学院女子大学教授）	生活習慣病(腎臓病)の栄養ケア・マネジメントの基本と、食べることを支援するために必要な教育に関する知識と技術について、事例(腎臓病)を通じて学ぶ。	2時間	
		栄養教育(子育てと食支援)	堤ちはる（相模女子大学特任教授）	乳幼児期の栄養教育の基本を保護者支援も含めて学ぶ。	2時間	
N S T 6	8月8日（土） 9：30～ 18：20	倫理とチーム活動～医療介護サービスとチーム活動を中心に～	三浦公嗣（藤田医科大学特命教授）	医療・介護サービスにおける倫理を踏まえて、NSTや栄養ケア・マネジメントに際したチームアプローチの根幹となる基本的考え方について学ぶ。	2時間	9：30～ 11：30
		経腸・静脈栄養法（経腸栄養）【基礎】（懸濁法等薬剤との関係）	菅野浩（済生会横浜市東部病院薬剤部部長）	NSTにおいて必要な経腸栄養法における簡易懸濁法などの薬剤との関係について学ぶ。	1時間	11：30～ 12：30
		経腸・静脈栄養法（経腸栄養）【基礎】	加藤昌彦（檀山女学園大学教授）	臨床的に安定している患者の栄養ケア計画作成・補給方法（特に経腸栄養）から実践までを、特に「栄養治療と栄養療法」「経腸栄養～基礎から応用」「エネルギー・各種栄養素必要量の算定」等についての最新の知とその実践方法を学ぶ。	3時間	13：20～ 16：20
		科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント活動	櫻裕美（愛知淑徳大学教授）	科学的根拠に基づいた効果的なNSTや栄養ケア・マネジメントの取り組みをめざし、科学的根拠の水準と研究方法の理解、科学的根拠の検索方法、論文を理解するための論文の構造や統計学の基本を学ぶ。	2時間	16：20～ 18：20
	8月9日（日） 9：30～ 18：20	経腸・静脈栄養法（静脈栄養）【応用】	深柄和彦（東京大学医学部附属病院教授）	静脈栄養法についての基礎として、等張の輸液製剤、輸液の各種基本製剤、中心静脈栄養法（TPN）とその施行上の遵守項目、TPN管理の実際について、実際の電解質組成の計算等を学び、さらに、急性期入院患者の栄養障害への早期対応のための栄養スクリーニング・栄養アセスメントの基本について学ぶ。	4時間	9：30～ 12：30、 13：20～ 14：20
		栄養アセスメント・栄養ケア計画	梶井文子（東京慈恵会医科大学教授）	多職種による栄養ケア（エンド・オブ・ライフを含めて）について学ぶ。	2時間	14：20～ 16：20
		保健機能食品、病者用食品の検討（栄養機能食品、特別用途食品（病者用食品）、経腸栄養剤等の検討）	合田敬尚（静岡県立大学名誉教授・客員教授）	食品の選択・適性使用をめざし、栄養機能食品や病者用食品に関する制度、種類及び現行の課題について学ぶ。	2時間	16：20～ 18：20
	8月10日（月） 9：30～ 18：20	栄養アセスメント・栄養ケア計画：福祉基礎	田中和美（神奈川県立保健福祉大学教授）	地域包括ケアシステムにおけるNSTや栄養管理の位置づけを、医療・福祉政策等の最近の動向、低栄養とフレイル、生活保護、地域連携の視点から学ぶ。	2時間	9：30～ 11：30
		在宅栄養ケア・マネジメント（高齢者）	古賀奈保子（いばらき診療所）	在宅療養患者におけるアセスメント・モニタリング、栄養ケア計画作成を学ぶとともに、患者・家族との栄養・食事に関するコミュニケーションのあり方を学ぶ。	2時間	11：30～ 12：30、 13：20～ 14：20
		栄養アセスメント・栄養ケア計画：水電解質と輸液	三原法子（山形大学講師）	水・電解質と輸液の基礎を、具体的NSTの取り組み事例から学ぶ。	2時間	14：20～ 16：20
経腸・静脈栄養法：NSTの実践と症例		工藤雄洋（済生会横浜市東部病院栄養部部長）	NSTの体制や取組みの実践とチームによる症例検討のあり方を学ぶ。	2時間	16：20～ 18：20	
8月11日（火） 9：30～ 16：20	栄養アセスメント・栄養ケア計画：症例検討	矢野目英樹（相澤病院栄養科科長）	NST等の症例検討を中心に、総合的な栄養問題の評価や栄養診断を活用した栄養ケア・マネジメントの展開を学ぶ。	2時間	9：30～ 11：30	
	退院（所）計画・指導	高崎美幸（東葛クリニック病院医療技術部栄養ケア・ステーション課長）	NSTから退院までのチームによる栄養管理のあり方について、特に退院計画作成、退院支援及び退院指導を重視し、講義及び多職種による症例検討から学ぶ。	2時間	11：30～ 12：30、 13：20～ 14：20	
	退院（所）計画・指導（経腸栄養）	大石朋子（国際医療福祉大学小田原保健医療学部准教授）	経腸栄養利用者の「食えることを支える」ための退院指導の多職種連携のあり方について、経口移行、経口維持のための嚥下スクリーニングや食事介助等の具体的な手法から学ぶ（看護職による講義）。	2時間	14：20～ 16：20	

	開催日程	科目	講師	概要	時間数	時間帯
7	8月22日 (土) 10:00~ 17:00	症例検討と発表(脳血管障害の症例検討)	星野郁子(美原記念病院栄養管理部課長)	脳血管障害の病態や摂食嚥下障害について理解し、症例検討と発表を行う。	2時間	10:00~ 12:00
		症例検討と発表(がん患者に対する栄養管理の症例検討)	上島順子(NTT東日本関東病院栄養部)	がん患者における栄養管理と管理栄養士の役割を整理した後、症例検討と発表を行う。	2時間	13:00~ 15:00
		症例検討と発表(病院基礎回復期リハビリテーション病棟への入院から退院まで)	新谷恵子(医療法人社団輝生会本部栄養部統括部長)	回復期リハビリテーション病棟の特性、低栄養とサルコペニア、高次機能障害について学んだ後、入院から退院前調整までの症例検討と発表を行う。	2時間	15:00~ 17:00
8	9月1日(火) ~30日(水) (オンデマンド)	栄養ケア・マネジメントと情報管理	宇田淳(滋慶医療科学大学大学院教授)	情報とは、エビデンスとは、統計のうちとは、伝える情報から伝わる情報へ、ITを使う、情報機器の未来(ロボットやICT、デジタルヘルス時代)、ITリテラシー等、栄養ケア・マネジメントに役立つ最新の情報管理を具体的な病院、地域医療での事例を通じて学ぶ。	2時間	
		栄養教育(低栄養)	藤谷朝美(済生会横浜市東部病院)	低栄養に対応して食べる楽しみを支援するための栄養相談について学ぶ。	2時間	
9	9月5日 (土) 10:00~ 17:00	症例検討と発表(ICU等、周術期)	矢野目英樹(相澤病院栄養科科長)	ICU等入室患者の特性を踏まえた令和6年度診療報酬改定対応のための症例検討。	2時間	10:00~ 12:00
		栄養教育(循環器疾患)	宮島功(近森病院臨床栄養部部長)	循環器疾患の栄養管理・栄養教育(症例を含めて)最新の情報と実務のあり方を学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
		症例検討と発表(高齢者消化管)	野本尚子(千葉大学医学部附属病院栄養管理室長)	大学附属病院(特定機能病院)における栄養ケア体制と高齢の消化管術後症例の検討と討議、解説。	2時間	15:00~ 17:00
10	10月1日(木) ~31日(土) (オンデマンド)	栄養教育(小児・障害児者)	藤谷朝美(済生会横浜市東部病院)	成長不良や代謝障害など小児期に特徴的な病児や障害がある方の栄養障害の特徴や栄養評価の基本を理解し、何らかの障害があってもその人なりの生き方を考えた栄養ケアや食支援について学ぶ。	2時間	
		集団の栄養評価と計画(研究法、論文の書き方の基礎)	遠又靖丈(神奈川県立保健福祉大学准教授)	集団の栄養評価と計画について、疫学・統計学の活用について学ぶ。	2時間	
		集団の栄養評価と計画(論文の書き方)	西連地利己(獨協医科大学教授)	臨床栄養師認定論文の作成を目指した論文の書き方のコツの全てを学ぶ。論文作成や投稿の初心者、臨床栄養師論文試験の必須科目。投稿経験者も開眼する講義。	2時間	
		集団の栄養評価と計画(実際の原著論文の読み方、文献検索方法)	多田由紀(東京農業大学教授)	横断研究、追跡研究、介入研究など、実際の原著論文を事例として、論文に記載すべき事項や考察の展開の仕方など、論文の書き方を学ぶ。	2時間	
11	10月3日 (土) 10:00~ 15:00	栄養ケア・マネジメントの運営(継続的品質改善活動)	堤亮介(平成医療福祉グループ栄養部部長)	マネジメントにおける継続的品質改善活動の実際とその課題発表と討議について学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		症例検討と発表(小児・障害児)	鳥井隆志(兵庫県立ひょうごこころの医療センター栄養管理部栄養管理課課長)	疾患や障害を持つ小児期の症例を通して、小児期の栄養評価や栄養ケアのアウトカムの設定について理解する。	1時間	13:00~ 14:00
		症例検討と発表(障害者)	片岡陽子(川崎市南部地域療育センター)	障害者の症例を通して、障害者のケアについて理解し、栄養ケア実践にむけての多職種協働等についても理解を深める。	1時間	14:00~ 15:00
12	11月14日 (土) 10:00~ 17:00	症例検討と発表(脂質代謝異常の症例検討)	工藤雄洋(済生会横浜市東部病院栄養部部長)	脂質異常症の基本的理解を深め、その後症例検討と発表を行う。	2時間	10:00~ 12:00
		特別講義 糖尿病指導に必要な基礎知識	田中明(女子栄養大学名誉教授)	高齢者の糖尿病の栄養指導に関するエビデンスに関する講義と症例検討。	2時間	13:00~ 15:00
		症例検討と発表(糖尿病)	田中明(女子栄養大学名誉教授)、蒲池桂子(女子栄養大学教授)	女子栄養大学クリニックの教育研究の専門家が、糖尿病症例について管理栄養士と医師の立場から検討と討議を展開する。	2時間	15:00~ 17:00
13	11月15日 (日) 10:00~ 17:00	栄養教育(カウンセリング・コミュニケーション)	古賀奈保子(いばらき診療所)	訪問の実際を通して、上手なカウンセリング・コミュニケーションについて学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		症例検討と発表(ターミナルケア)	谷中景子(千春会病院栄養科統括主任)	在宅訪問の症例検討のグループワーク。	2時間	13:00~ 15:00
		在宅栄養ケア・マネジメント	田中裕美子(社会医療研究所)・アドバイザー佐藤悦子(愛全診療所居宅療養管理指導)	在宅訪問の体制づくりや実務のあり方について研修生と意見交換しながらアドバイスする。	2時間	15:00~ 17:00

日本健康・栄養システム学会

令和8年度臨床栄養師認定講座、栄養サポートチーム研修講義日程表

(令和8年8月8日(土)～11日(火))

※栄養サポートチーム研修 医師(8月8日～9日)：色つきの部分のみ、10時間です。

※栄養サポートチーム研修 医師以外の職種の方(8月8日～11日)：30時間です。

時限	時間	科目名(担当者名)			
		令和8年 8/8(土)	8/9(日)	8/10(月)	8/11(火・祝)
会場		WEBによる			
	9:15-9:30	オリエンテーション			
1	9:30-10:30 *	臨/NST(医師含む) 倫理とチーム活動 (三浦公嗣・2時間)	臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (静脈栄養) 【応用】 (深柄和彦・4時間)	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (田中和美・2時間)	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (矢野目英樹・2時間)
2	10:30-11:30 *			福祉基礎	症例検討
3	11:30-12:30 *	臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (経腸栄養)【基礎】 (懸濁法等 薬剤との関係) (菅野浩・1時間)		臨/NST 在宅栄養ケア・ マネジメント (古賀奈保子・2時間)	臨/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・2時間)
4	13:20-14:20 *	臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・3時間)		臨/NST 在宅栄養ケア・ マネジメント (古賀奈保子・2時間)	臨/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・2時間)
5	14:20-15:20 *	臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・3時間)	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (梶井文子・2時間)	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (三原法子・2時間)	臨/NST 退院(所)計画・指導 (経腸栄養) (大石朋子・2時間)
6	15:20-16:20 *			水電解質と輸液	臨/NST 退院(所)計画・指導 (経腸栄養) (大石朋子・2時間)
7	16:20-17:20 *	臨/NST 科学的根拠に基づいた 栄養ケア・マネジメント 活動 (榎裕美・2時間)	臨/NST 保健機能食品、 病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	臨/NST 経腸・静脈栄養法： NSTの実際と症例 (工藤雄洋・2時間)	
8	17:20-18:20 *				

* 講義時間について *

・各講義時間の最後の10分間は、「まとめ」の時間とします。

栄養サポートチーム研修：診療報酬栄養サポートチーム加算の施設基準である専従者及び専任者となる看護師、薬剤師、管理栄養士等を育成することを目的としております。

・医師は、2日間(8/8(土)9:30～16:20、8/9(日)9:30～14:20の10時間)です。

・医師以外の職種の方は、4日間(最終日は16:20まで、30時間)及び、臨床研修10時間です。臨床研修については、募集要項をご覧ください。